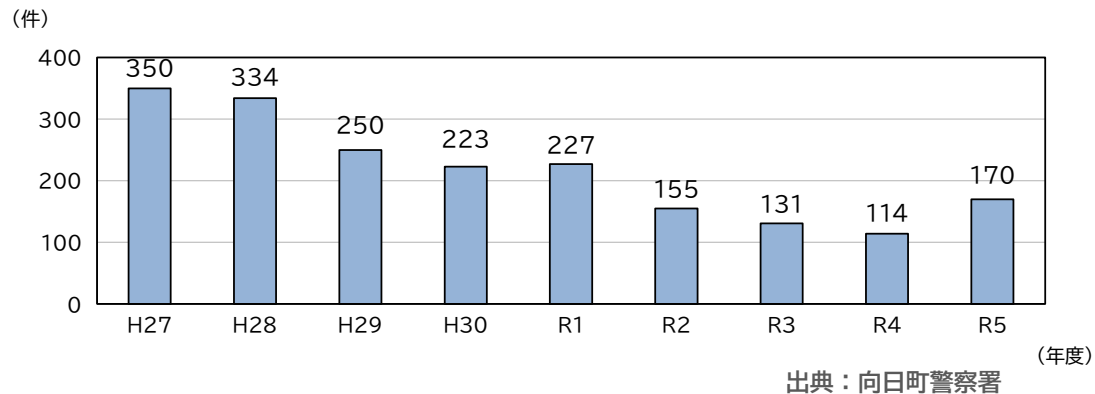


防災・安全

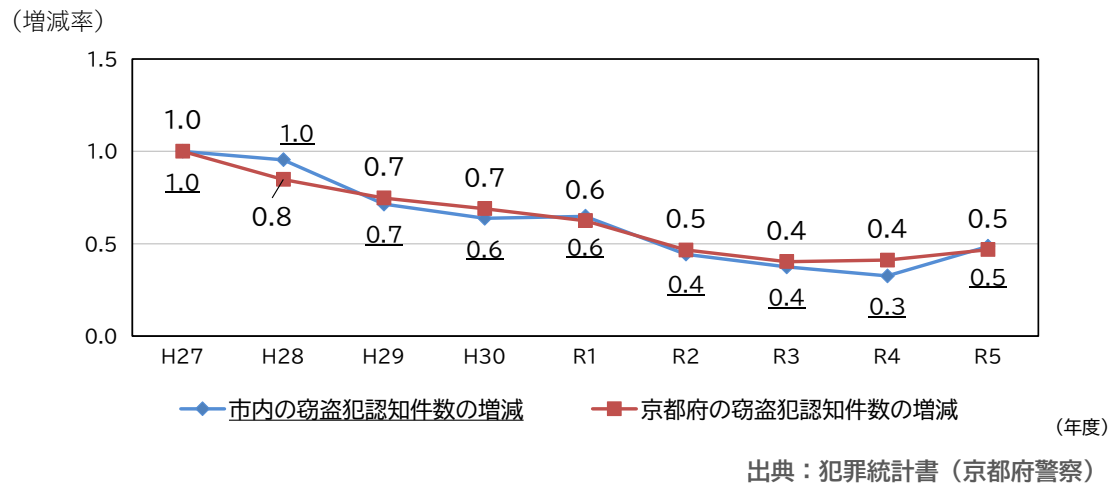
市内での窃盗犯認知件数

窃盗犯認知件数はコロナ前の水準に近づいている



窃盗犯認知件数の増減

長岡京市、京都府ともにコロナ禍で減少し、増加傾向にある

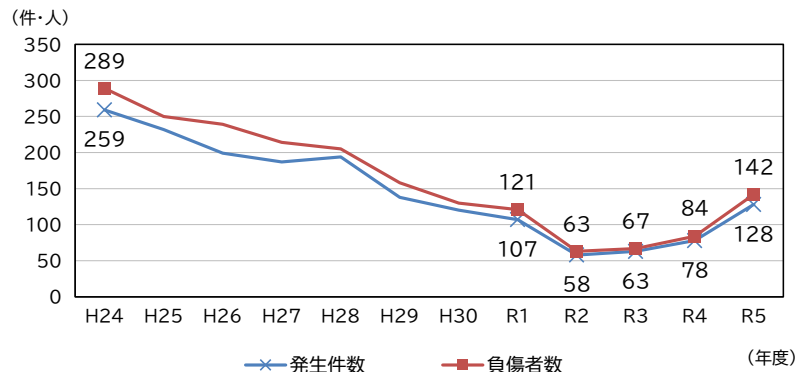


※H27を1として増減を比較

防災・安全

市内交通事故件数・負傷者数

事故件数・負傷者数ともにコロナ前の水準に戻っている

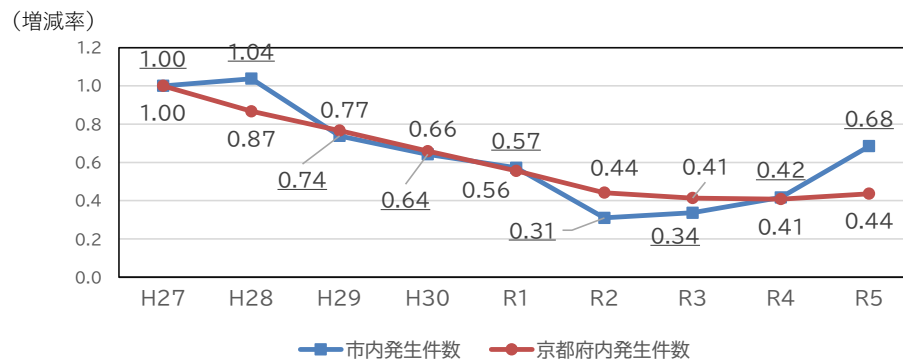


出典：京都府警察本部交通統計資料（高速道路除く）

交通事故件数の増減

※H27を1として増減を比較

長岡京市、京都府ともにコロナ禍で減少し、市は増加傾向にある



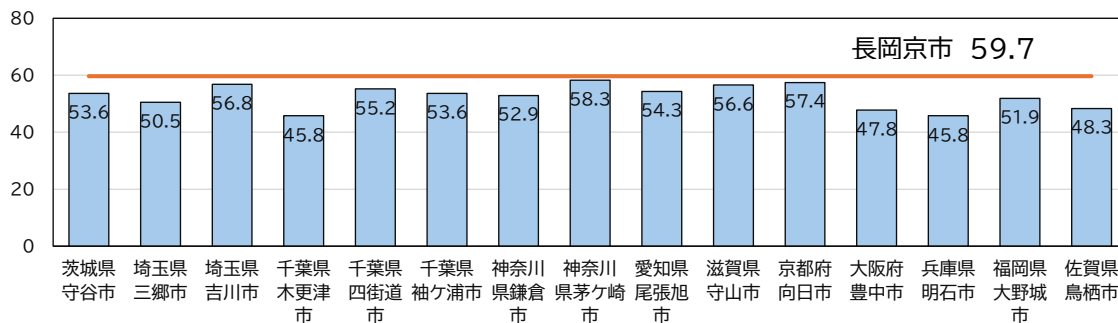
出典：京都府警察本部交通統計資料（高速道路除く）

事故・犯罪の発生状況他都市比較

※人口あたり交通事故件数（交通事故件数2023年、人口2020年）と人口あたり刑法犯認知件数（-）（刑法犯認知件数2023年、人口2020年）について人口10万人以上の自治体の数値をベースとした偏差値で比較。人口10万人未満の都市については、都市の平均値と標準偏差を適用して偏差値を算出している。

※比較自治体は、子育て世帯の転入が多いと分類され、産業構造、人口規模及び産業構造が類似している自治体

他都市と比較しても事故・犯罪の発生率は低い

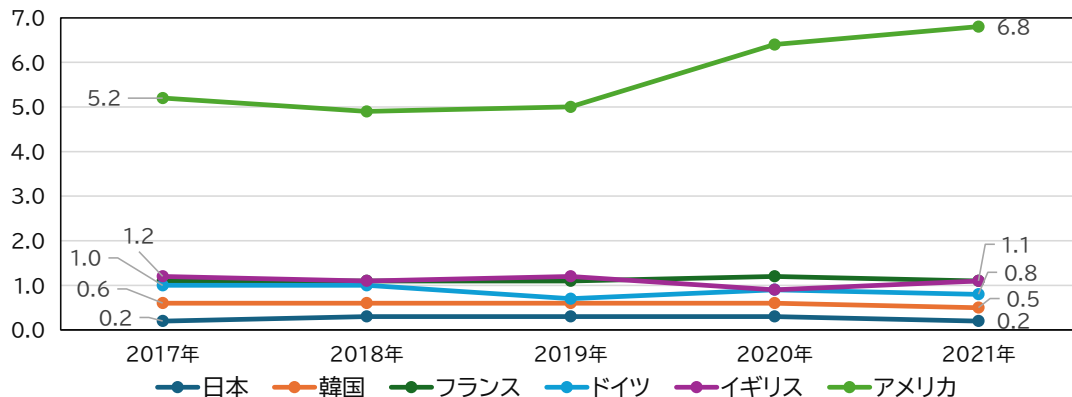


出典：デジタル庁「地域幸福度（Well-Being）指標」

防災・安全

日本は殺人発生率が低く、横ばいで推移

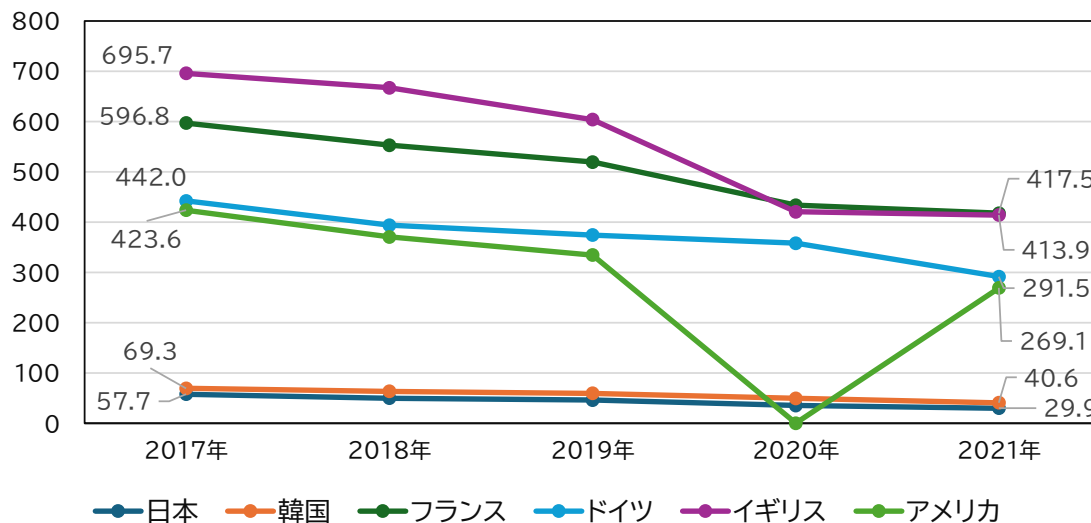
諸外国における殺人発生率



出典：犯罪白書 令和6年度

諸外国における侵入盗発生率

日本は侵入盗発生率が低く、減少傾向にある



出典：犯罪白書 令和6年度

※1 「発生件数」は、dataUNODC（令和6年（2024年）7月1日確認）による。ただし、dataUNODC から数値が入手できなかった 2017年及び2018年の「日本」の「発生件数」の数値は、警察庁刑事局の資料による。

※2 人口は、国連経済社会局人口部の世界人口推計2022年版（World Population Prospects 2022）による。

※3 dataUNODC による場合、「侵入盗」は同資料における「Burglary」を、「侵入盗以外の窃盗」は同資料における「Theft」を、「自 動車盗」は同資料における「Theft of a motorized vehicle」を、それぞれいう。

※4 発生率（前記人口推計に基づく人口（各年7月1日時点の推計値）10万人当たりの発生件数）である。

※5 dataUNODC 又は警察庁刑事局の資料において、「発生件数」の数値が入手可能であった年につき、「発生件数」及び「発生率」を示している。

※6 英国は、イングランド、ウェールズ、スコットランド及び北アイルランドをいう。